



TOSTEM リプラス 縦すべり出し窓・横すべり出し窓 枠・障子 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●ステー取付けねじは $2.5 \pm 0.5N$ { $25 \pm 5kgf \cdot m$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が脱落するおそれがあります。

▲注意

- 本製品は組立て後の障子重量が最大縦すべり出し窓で25kg、横すべり出し窓で20kgになります。建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。
- 必ず指定のねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。障子が脱落するおそれがあります。
- 漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・指定箇所へは、必ず気密テープを張付けてください。
 - ・パークランプは水平にして上枠取付ベース材が既設サッシ上枠に、新設サッシ上枠が上枠取付ベース材にあたるまでクランプしてください。
 - ・既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。
 - ・下枠と縦枠はアルミと樹脂の嵌合部を気密テープでふさいでください。
- 調整スペーサーは同梱のもの、または見込み寸法が同じサイズ(50.5mm)のものを使用してください。スペーサーが大きいと止水材に干渉し漏水のおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク $1.5 \sim 2.0N \cdot m$ にて取付けを行ってください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 取付け前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
- 開口に固定する際に、新設サッシ枠が下記の寸法以下になるように取付けてください。

■サッシ枠のフクレ・ツツミ <table border="1"> <tr> <td>L2-L1</td> <td>A</td> <td>L1-L2</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1.5</td> <td>3</td> <td>1.5</td> </tr> </table>	L2-L1	A	L1-L2	B	3	1.5	3	1.5	■サッシ枠対角差 <table border="1"> <tr> <td>C</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>	C	2	■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ <table border="1"> <tr> <td>L1-L2</td> <td>D</td> <td>L2-L1</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1.5</td> </tr> </table>	L1-L2	D	L2-L1	E	3	2	3	1.5	■サッシ枠のねじれ <table border="1"> <tr> <td>F</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>	F	2	■サッシ枠の室内外のソリ <table border="1"> <tr> <td>H1</td> <td>H2</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	H1	H2	1	1
L2-L1	A	L1-L2	B																									
3	1.5	3	1.5																									
C																												
2																												
L1-L2	D	L2-L1	E																									
3	2	3	1.5																									
F																												
2																												
H1	H2																											
1	1																											

現調説明動画

 施工説明動画

■部材・部品一覧

部材 [枠同梱] 上枠取付ベース材	A：縦枠取付ベース材セット				
 縦枠取付ベース材	 縦枠取付ベース金具(大)	 縦枠取付ベース材取付ねじ 皿バーリングドリルねじ $\phi 4 \times 13$ (D7)	 調整スペーサー(t=1.0)	 調整スペーサー(t=3.0)	

■部材・部品一覧

上下枠取付ベース材セット

B：下枠取付ベース材セット				C：上枠取付ベース材セット			
下枠レベル調整付土台	下枠レベル調整付土台取付ねじ 皿ドリルねじφ4×16 (D7)	下枠調整金具(小)	下枠調整ねじ(小) 皿小ねじM5×16 (D10)	上枠調整部品	上枠調整部品取付ねじ 皿ドリルねじφ4×16 (D7)	上枠取付ベース材取付ねじ(室外側) 平ドリルねじφ4×13 (D7)	上枠取付ベース材取付ねじ(室内側) 皿ドリルねじφ4×16 (D7)

上下枠取付ベース材セット		
C：上枠取付ベース材セット		
上枠調整ねじ(小) 皿小ねじM5×10 (D10)	調整スペーサー(t=1.0)	調整スペーサー(t=3.0)

有償品			
アクリル系気密テープ 幅50mm	アクリル系気密テープ 幅30mm	アルミ箔気密テープ 幅50mm	アルミ箔気密テープ 幅30mm

D：枠取付け部品セット(縦すべり出し窓用) [枠同梱]								ステー取付ねじ[枠同梱]
下枠取付ねじ 平ドリルねじ φ4×32 (D7)	縦枠取付ねじ(室外) 薄平(テーパー付)ドリルねじ φ4×19 (D7)	縦枠取付ねじ(室内) 平ドリルねじ φ4×32 (D7)	上枠取付ねじ 平ドリルねじ φ4×45 (D7)	縦枠カバー取付ねじ 特平ドリルねじ φ4×10 (D7)	コーキング ワッシャー	スペーサー (12.5mm)	コーナー 気密テープ	障子取付ねじ 薄平タッピンねじ M4×10

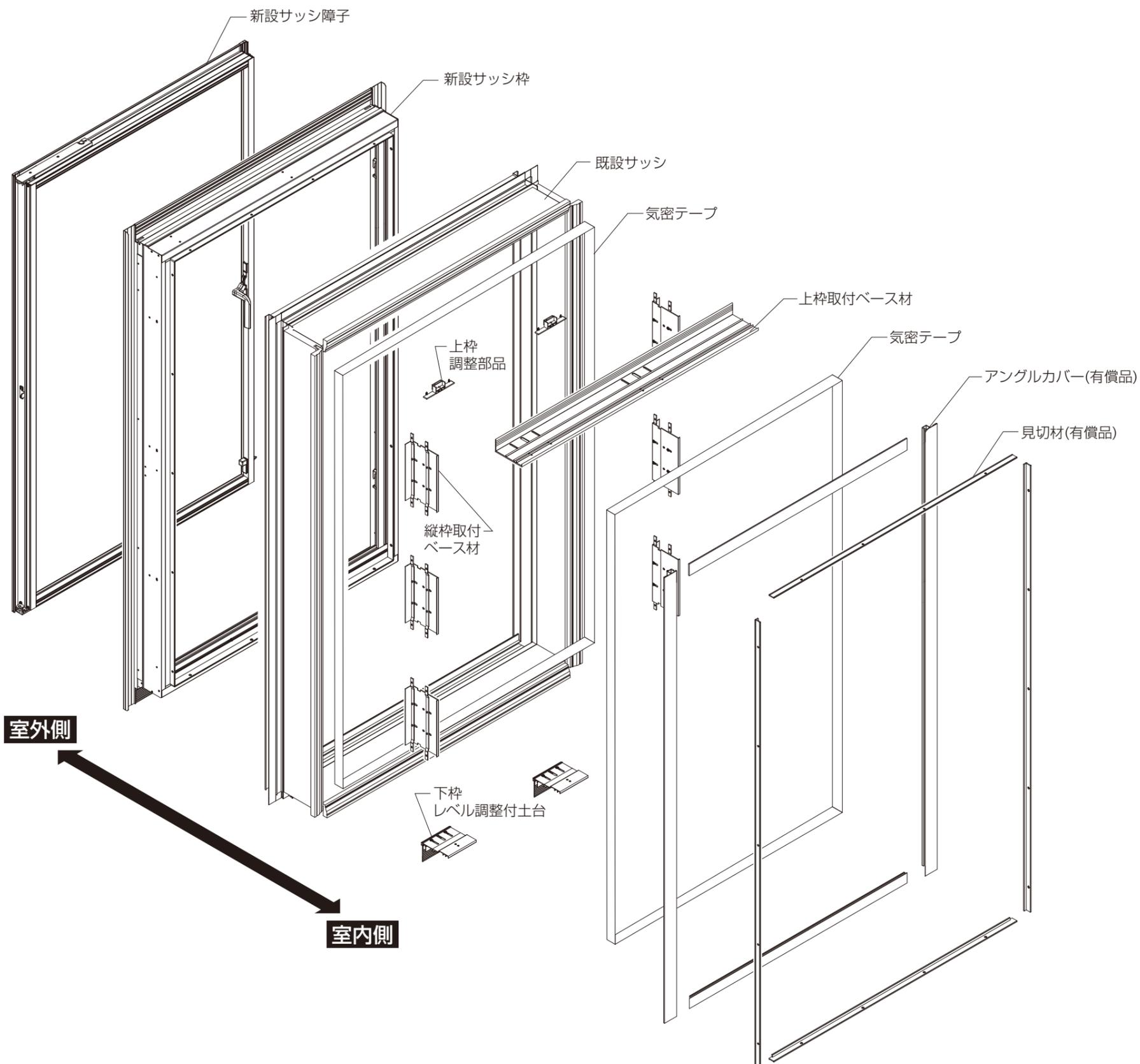
E：枠取付け部品セット(横すべり出し窓用) [枠同梱]								ステー取付ねじ[枠同梱]
下枠取付ねじ 平ドリルねじ φ4×25 (D7)	縦枠取付ねじ(室外) なべドリルねじ φ4×19 (D7)	縦枠取付ねじ(室内) 平ドリルねじ φ4×32 (D7)	上枠取付ねじ 平ドリルねじ φ4×45 (D7)	縦枠カバー取付ねじ 特平ドリルねじ φ4×10 (D7)	コーキング ワッシャー	スペーサー (8.5mm)	コーナー 気密テープ	障子取付ねじ 皿小ねじ M4×8

■取付けに使用する工具

トルク調整付 W=300以下またはH=350以下の場合 は小さいドライバー(ビットの先端までの長さLが 175mm以下)をご用意ください。		φ2.0・φ3.4					
スケール	差し金	直尺	伸縮スケール	パークランプ	ペンチ	くい切り	カッター
		※4					
ディスクグラインダー	マルチツール	レスプロソー	ヤスリ	切断機			
※3	※3	※3		※4			
				角度調整付			

- ※1：開口内々を1人で測定する際に使用します。
- ※2：新設サッシを固定する際は使用します。300mm程度必要です。
- ※3：カバー部が干渉する際に使用します。
- ※4：必ず使用するものではありません。

構成図



取付け順序

① 既設サッシ枠の状態確認

② 既設サッシの準備

- ②-1 部品の取外し
- ②-2 既設サッシ枠の切断
- ②-3 補助アングルの取付け
(既設サッシ枠がアングルなしの場合のみ)
- ②-4 気密テープの張付け
- ②-5 コーナー部のシーリング

③ 取付ベース材の取付け

- ③-1 取付ベース材の位置出し
- ③-2 取付ベース材の取付け

④ 新設サッシ枠の取付け

- ④-1 新設サッシ枠のはめ込み
- ④-2 新設サッシ上枠の仮固定
- ④-3 新設サッシ枠の固定

⑤ 新設サッシ障子の取付け

- ⑤-1 新設サッシ障子の取付け
- ⑤-2 建付け調整
- ⑤-3 気密テープの張付け

⑥ 室内仕上げ材の取付け (有償品)

- ⑥-1 DS窓枠の採寸
- ⑥-2 ケーシングの切断
- ⑥-3 ケーシングの取付け
- ⑥-4 調整方法
- ⑥-5 木口テープの張付け

1 既設サッシ枠の状態確認

※リプラス現場調査キット使用説明書を参照ください。

2 既設サッシの準備

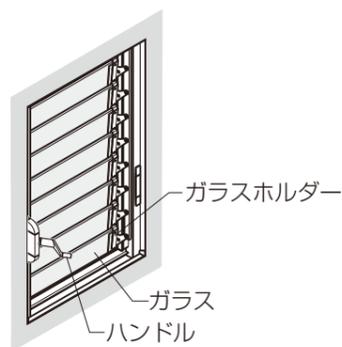
2-1 部品の取外し

- ①窓まわりにキズが付かない様に養生をします。
 - ②既設サッシの網戸・面格子・障子・ガラスを外します。
 - ③既設サッシに付いている部品を取外します。
- ※部品を取外した際に、躯体に貫通する穴が見えた場合は、穴をシーリング処理してください。

(例)

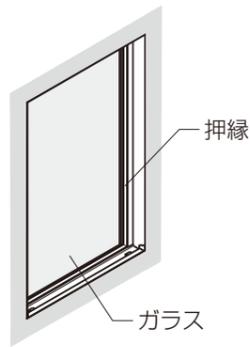
【ガラスルーバー窓の場合】

ガラスをガラスホルダーから外し、ガラスホルダー、ハンドル裏板、パッキンを外します。



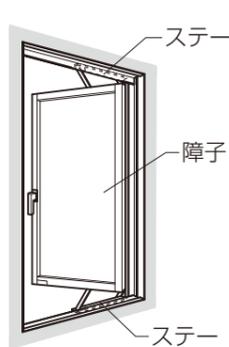
【FIX窓の場合】

ビード、押縁を外したあとにガラスを外します。



【縦すべり出し窓の場合】

ステー取付ねじを外して障子を外したあと、サブロック、カムラッチ受け、パッキンを外します。



【上げ下げ窓SHの場合】

FIX部の押縁、ガラス、パッキンを外し、上げ下げ部の障子を外したあと、バランスーを外します。中棧は切断します。

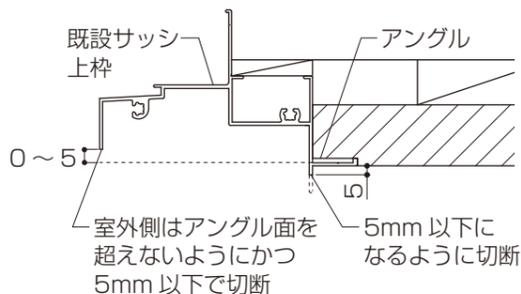


2-2 既設サッシ枠の切断

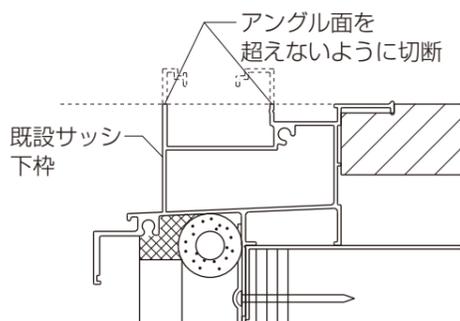
既設サッシ枠の採寸押え位置から突出しているリブがある場合、リブ高さが5mm以下になるように、切断します。ただし既設上枠・下枠の室外側は採寸押え位置を超えないように切断し、上枠室外側はアングル面から5mm以下で切断してください。

(例)アングル付サッシの場合

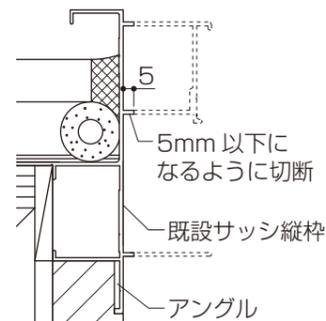
●上枠



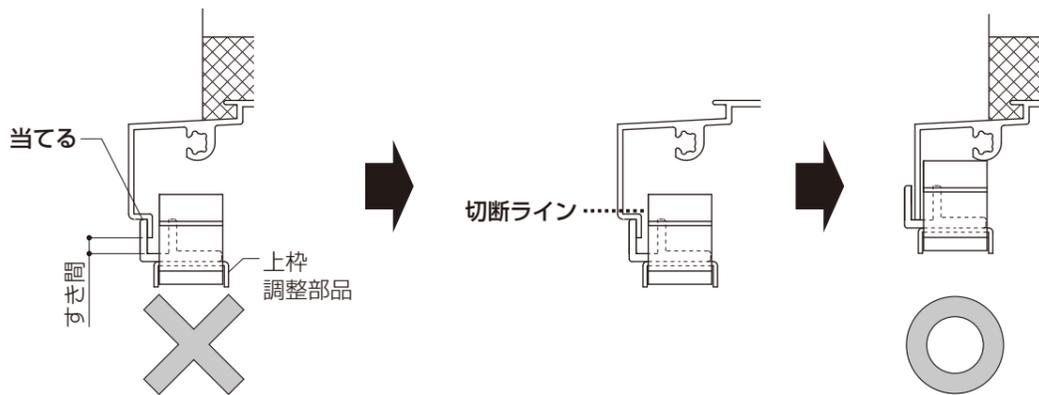
●下枠



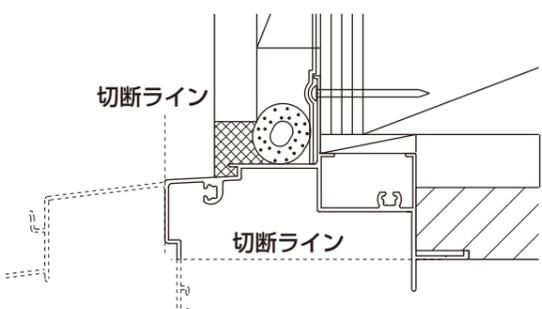
●縦枠



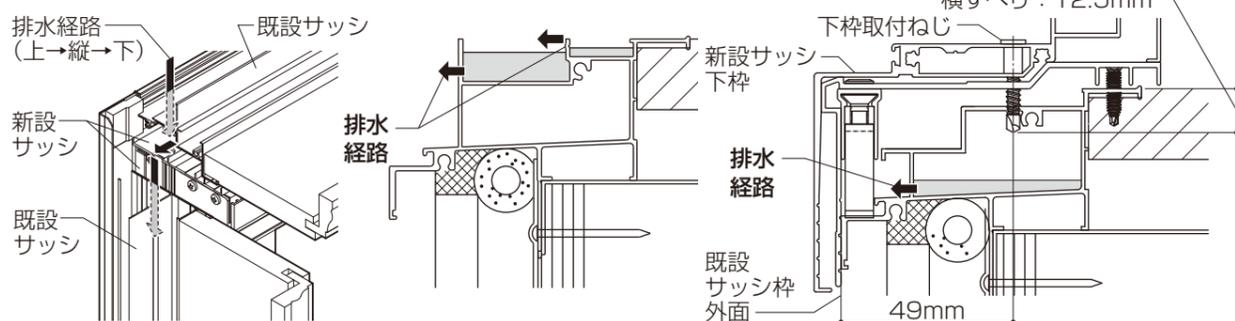
※室外側のリブに段差があり、切断後、上枠調整部品を当て、切断後のリブとの間にすき間があく場合は、もう一段上で切断してください。



※面格子付サッシの場合、室外側のリブを切断後、アングル面から突出しているリブを切断してください。



※既設サッシ下枠は排水経路となっており(下図左側参照)、構造上アングルの外側まで水が排水されますので、排水経路が無い場合、既設下枠に穴をあけて排水経路を確保してください。また、既設サッシ下枠が下図(右側)の様な形状の場合、新設サッシ下枠の取付ねじが既設サッシ下枠まで貫通し、ホロー部まで水が入水する可能性があります。ホロー部からの排水経路が無い場合は、枠に穴をあけて排水経路を確保してください。穴は両端に55mm²以上(例:φ6穴2個)となるようにしてください。



- 1 既設サッシ枠の状態確認 → 2 既設サッシの準備 → 3 取付ベース材の取付け → 4 新設サッシ枠の取付け → 5 新設サッシ障子の取付け → 6 室内仕上げ材の取付け(有償品)

2-3 補助アングルの取付け(既設サッシ枠がアングルなしの場合のみ)

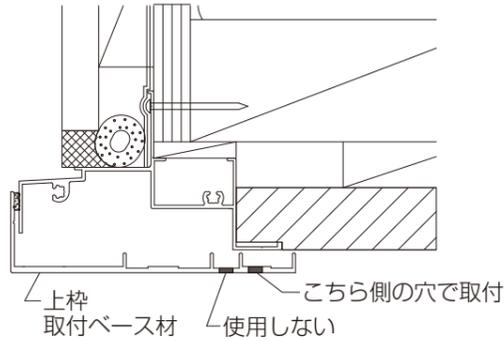
ベース材取付補助アングル取付け説明書をご覧ください。

2-4 気密テープの張付け

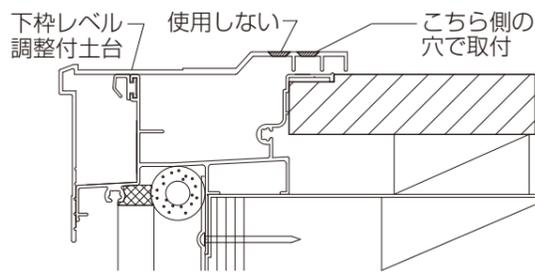
①上下のベース材は既設サッシ枠のアングルに取付けるため、気密テープを張付ける前に上枠取付ベース材および下枠レベル調整付土台を当てがい、アングルの位置を確認してください。

(例)

●上枠

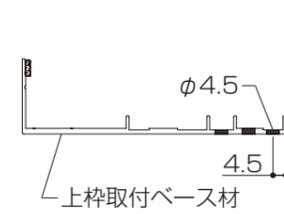


●下枠

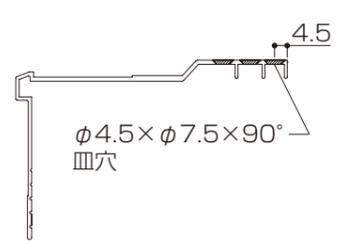


※既設枠の見込みが大きく室内側の穴で取付けができない場合は、下図の様に穴を追加してください。

●上枠



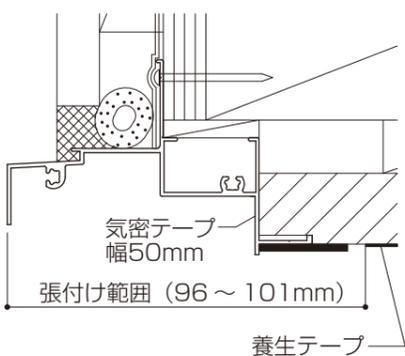
●下枠



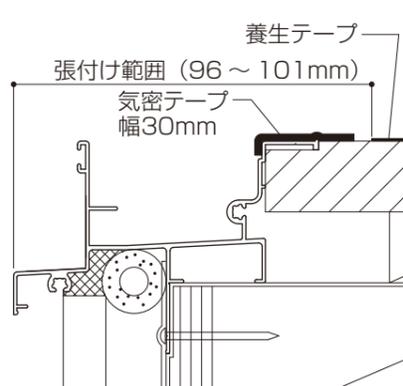
②図を参考にローラー、ヘラなどを使用し、既設サッシ枠から窓枠に気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。

【アングル付き枠の場合】

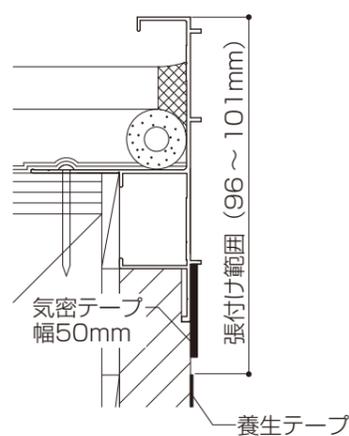
●上枠



●下枠

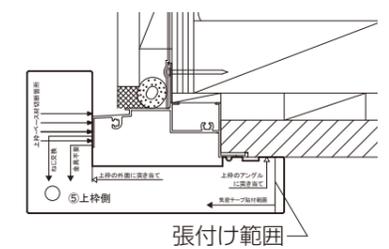


●縦枠

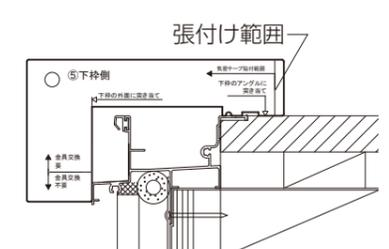


※現調キットのプレート⑤を使用し、気密テープ張付け範囲をけがくことができます。

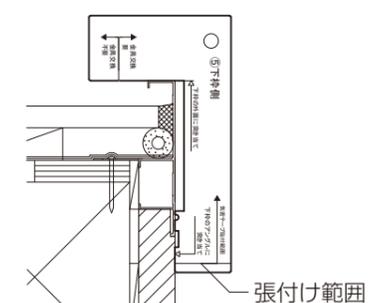
●上枠



●下枠



●縦枠



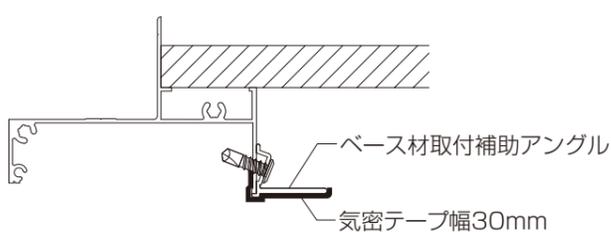
お願い

※アングルカバー・見切材仕上時に気密テープが干渉しないように、張付けは101mm以下にしてください。

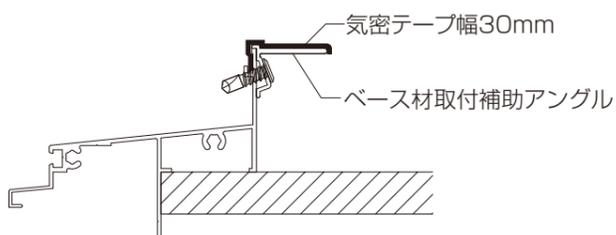
【アングルなし枠の場合】

補助アングルを使用した場合(窓枠との段差が15mm以上)

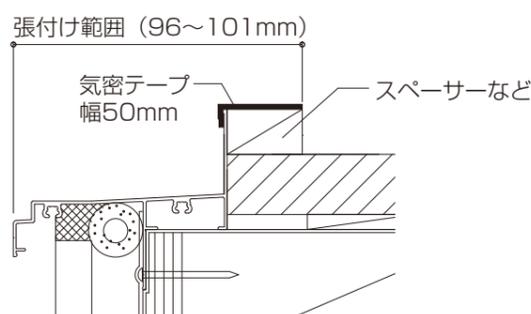
●上枠



●下枠

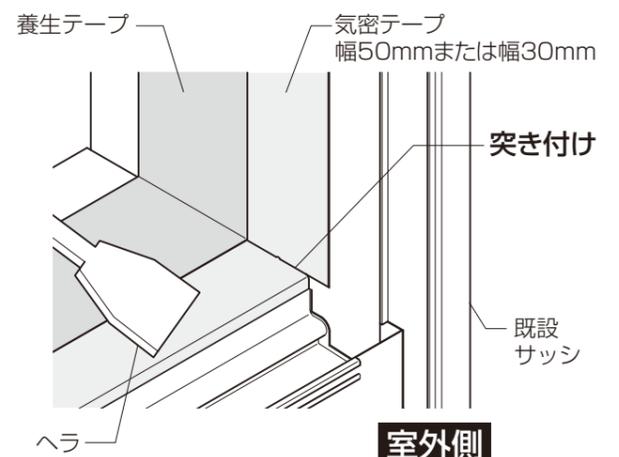


補助アングルを使用しない場合(窓枠との段差が15mm未満)



お願い(アルミ箔気密テープを使用する場合)

※アルミ箔気密テープはプチルシートを使用しています。のりが残るおそれがありますので、張付け面以外には付かないように養生テープを張付けて、アルミ箔気密テープを張付けてください。アルミ箔気密テープの密着性を保つために、張付け面は汚れ・油分などなきよう、拭き取り・清掃をしてください。



1 既設サッシ枠の状態確認 → 2 既設サッシの準備 → 3 取付ベース材の取付け → 4 新設サッシ枠の取付け → 5 新設サッシ障子の取付け → 6 室内仕上げ材の取付け(有償品)

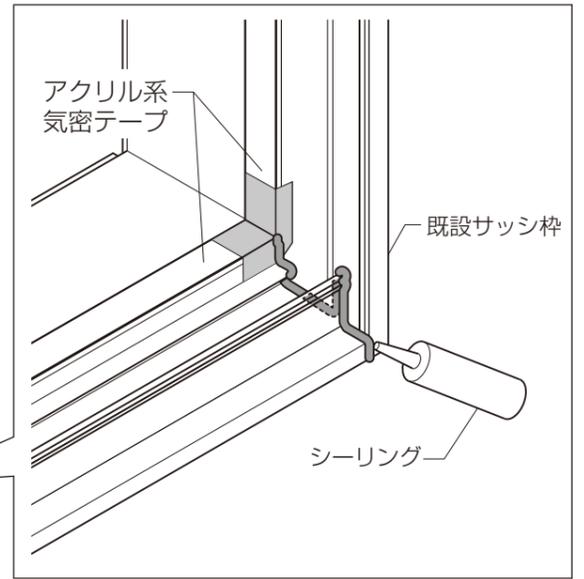
2-5 コーナー気密テープの張付け(図1)

コーナー部の四隅にコーナー気密テープを先に張った気密テープから室内側にはみ出さないように室内側から室外側へ向かって張付けてください。
 ※コーナー気密テープ上にはシーリングは不要です。

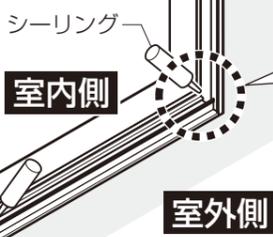
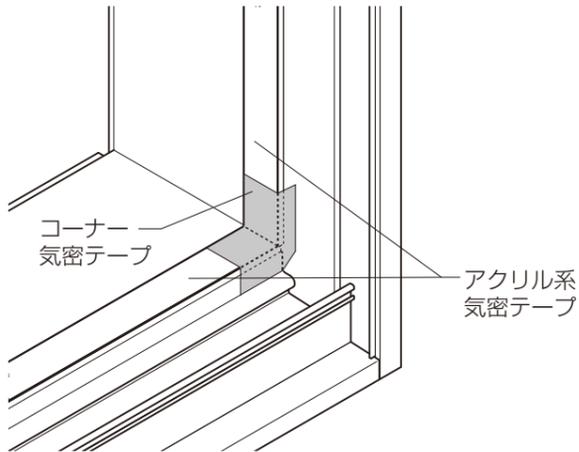
2-6 コーナー部のシーリング(図2)

既設サッシ枠のコーキングシーラーが劣化している場合があるため、既設サッシ枠のコーナー部にシーリング処理してください。
 合わせて気密テープのコーナー部をシーリング処理してください。

(図2)



(図1)



室外側

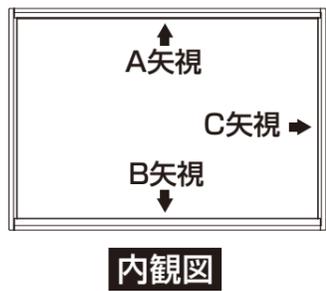
お願い

※シールの密着性を保つため、シーリング処理部は汚れ・油分などなきよう、拭き取り・清掃をしてください。

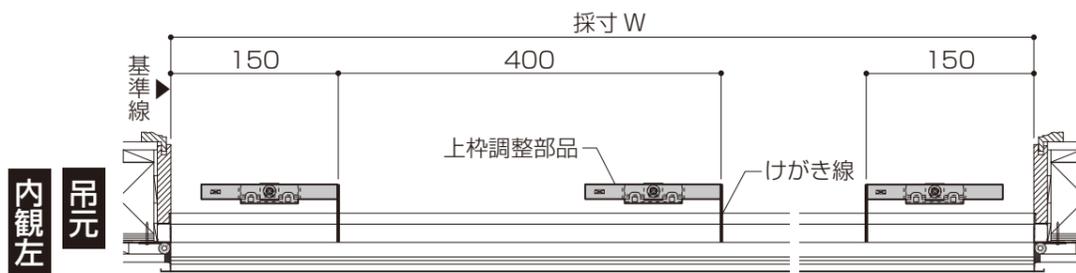
3 取付ベース材の取付け

3-1 取付ベース材の位置出し

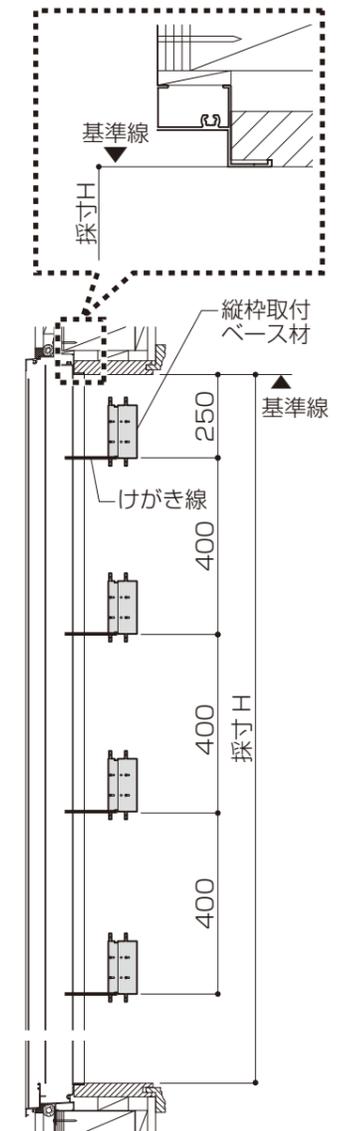
図を参照して位置出して、けがきます。



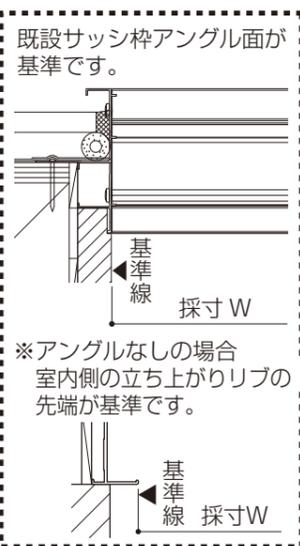
●上枠(A矢視図)



●縦枠(C矢視図)



●下枠(B矢視図)



※上下枠は、新設サッシが縦すべり出し窓の場合は吊元側から、横すべり出し窓の場合は内観左側から位置出して
 ください。

採寸W	縦すべり	横すべり	横すべり	縦すべり	ベース材 個数
	吊元	内観左	内観右	戸先	
~320	150				1
321~800	150	150			2
801~1200	150	400	150		3
1201~1600	150	400	400	150	4
1601~	150	400	400	400	5

採寸H	⊕	⊖	ベース材 個数		
	~746	250			1
747~1146	250	400	2		
1147~1546	250	400	400	3	
1547~2023	250	400	400	400	4
2024~	250	400	400	400	5

3-2 取付ベース材の取付け

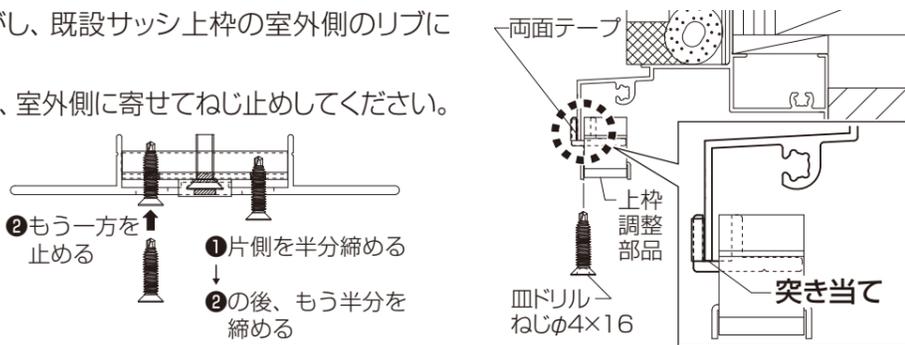
■上枠取付ベース材の取付け

①上枠調整部品の両面テープをはがし、既設サッシ上枠の室外側のリブに仮固定してからねじ止めします。

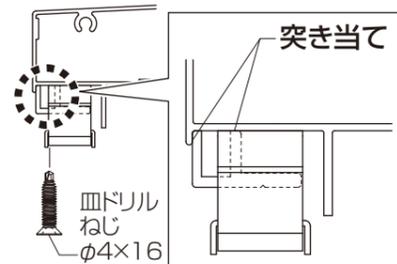
※既設サッシ枠がホロー形状の場合は、室外側に寄せてねじ止めしてください。

※上枠調整部品は、ねじの回転により動くため、片側を半分締めからもう一方を止め、残りの半分の半を締めてください。

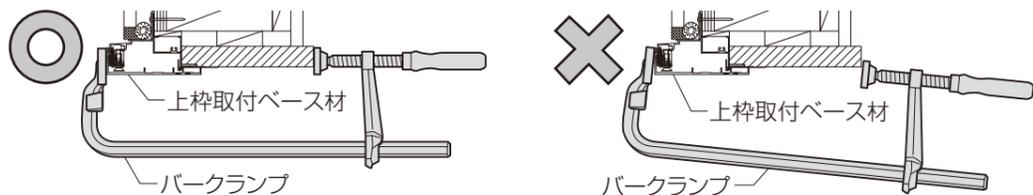
※ねじが止めにくい場合は、φ3.4で下穴をあけてください。



●既設サッシ枠がホロー形状の場合



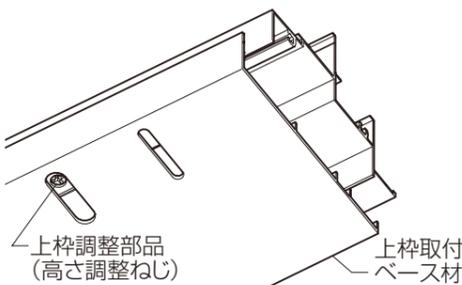
②上枠取付ベース材に張付けた止水材のリケイ紙をはがし、上枠取付ベース材が既設サッシ上枠に当たるまで、パークランプで室内側に引き寄せて、固定してください。



▲注意

●パークランプは水平にして上枠取付ベース材が既設サッシ上枠にあたるまでクランプしてください。クランプがゆるいと漏水のおそれがあります。

※左右位置は、上枠調整部品の高さ調整ねじが見える位置で固定してください。

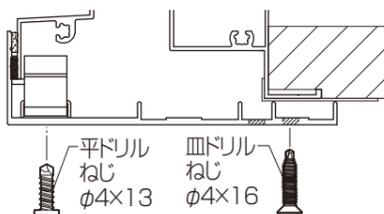


③上枠取付ベース材の室内側を既設サッシ枠のアングルにねじ止めし、室外側を上枠調整部品にねじ止めします。

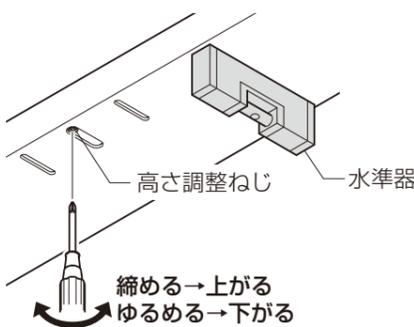
※室内側は内外に穴が2カ所ありますので、既設サッシ枠のアングルに固定できる側で固定してください。

※室外側は左右2カ所とも止めてください。

※ねじが止めにくい場合は、φ3.4で下穴をあけてください。



④水準器を当て、水平になるように高さを調整してください。



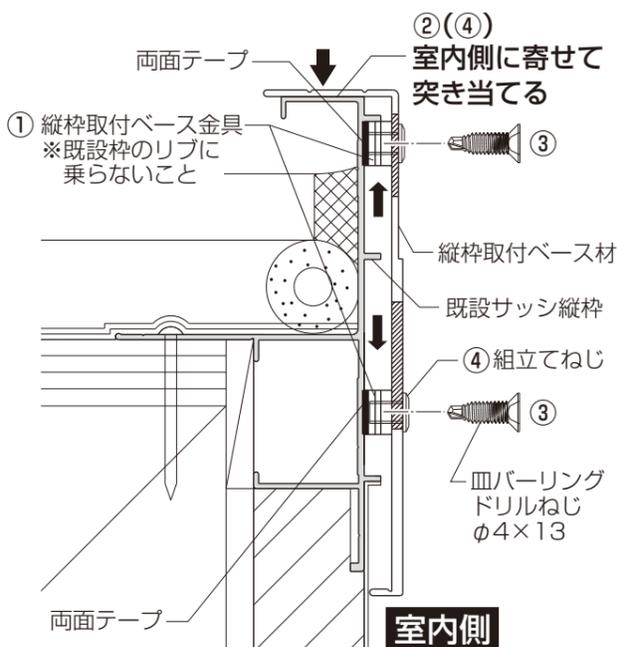
■縦枠取付ベース材の取付け

①縦枠取付ベース材のベース金具が既設サッシ縦枠に干渉しないように室外側は外へ、室内側は内へ見込方向の調整をします。

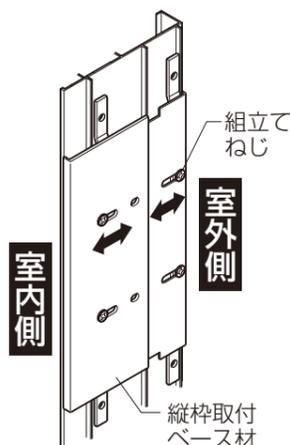
②縦枠取付ベース材の両面テープのリケイ紙をはがし、室内側に寄せて、位置出した個所に仮固定します。

③縦枠取付ベース材を取付けねじで固定します。

④室内側に寄せきれてない場合、組立てねじをゆるめて、室内側に寄せてください。

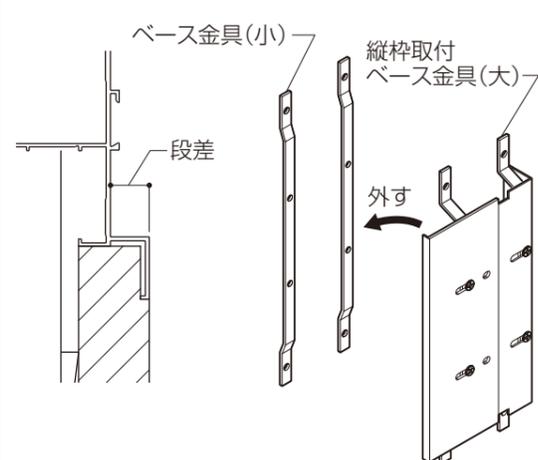


①見込方向の調整方法



※組立てねじをゆるめると、見込方向を調整できます。

●縦枠取付ベース金具について



※既設枠のアングル面に段差がある場合は縦枠取付ベース金具を(大)に付け替えてください。

1 既設サッシ枠の状態確認

2 既設サッシの準備

3 取付ベース材の取付け

4 新設サッシ枠の取付け

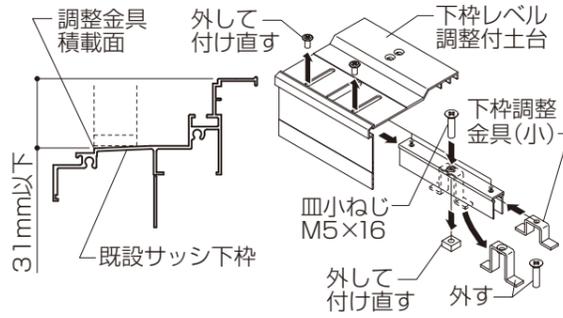
5 新設サッシ障子の取付け

6 室内仕上げ材の取付け(有償品)

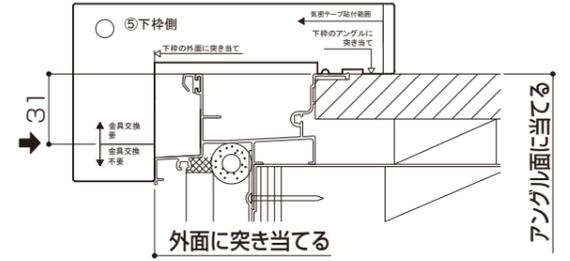
■下枠レベル調整付土台の取付け

- ① 下枠レベル調整付土台の調整金具が既設サッシ下枠に干渉しないように見込み方向の調整をします。
 - ② 室内側に寄せて、位置出した個所にねじ止めします。
※ねじ止めの穴は2カ所ありますので既設サッシ枠のアングルに固定できる側で固定してください。
 - ③ 水準器を当て水平になるように高さを調整してください。高さ調整時、調整金具と既設サッシ下枠との間にすき間ができないようにしてください。
- ※既設サッシのパッキンは取外してください。反発で下枠レベル調整付土台が浮き、新設サッシに干渉するおそれがあります。

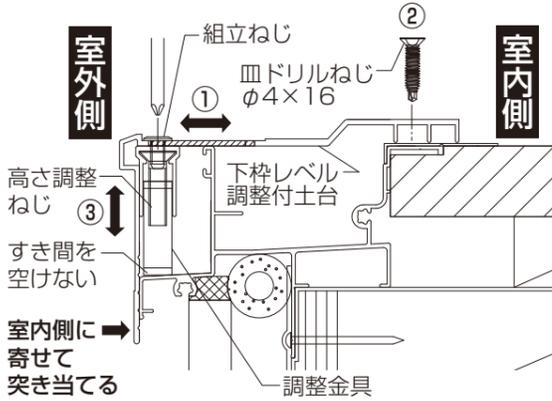
●下枠調整金具について



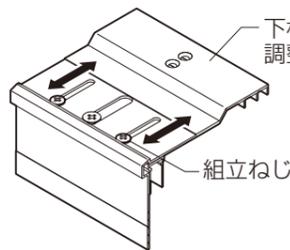
※調整金具積載面とアングル面との段差が31mm以下の場合には下枠調整金具およびねじを(小)に付け替えてください。



※現調キットのプレート⑤を使用し、金具の交換要否を確認することができます。
図の矢印の位置の線がアングル面から31mmになっているため、調整金具積載面が線より上であれば金具(小)へ交換、下であれば交換は不要です。

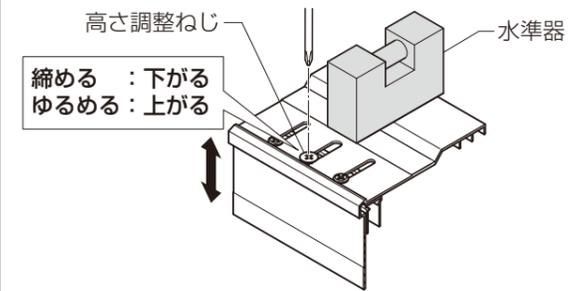


①調整金具の見込み位置調整方法



組立ねじをゆるめると調整金具の見込み方向を調整できます。

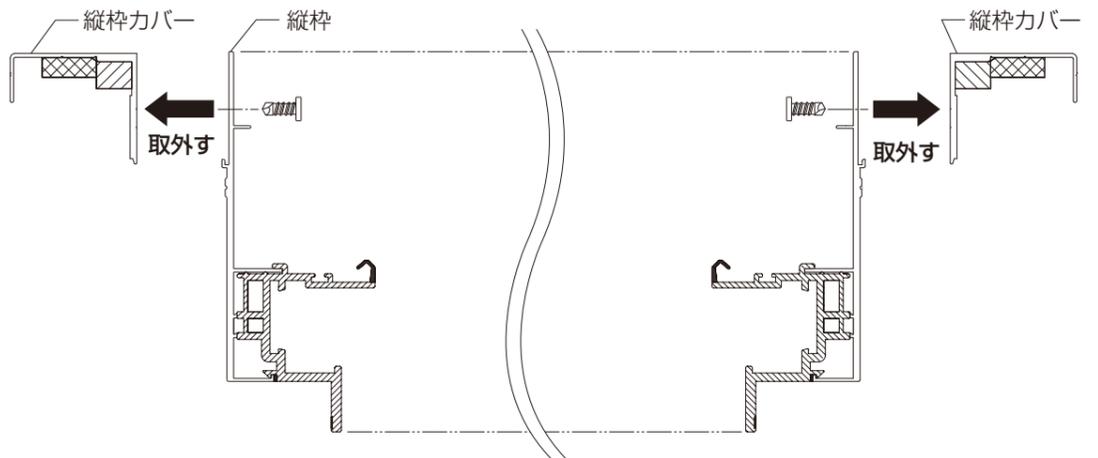
③高さ調整方法



高さ調整ねじをまわすと高さを調整できます。

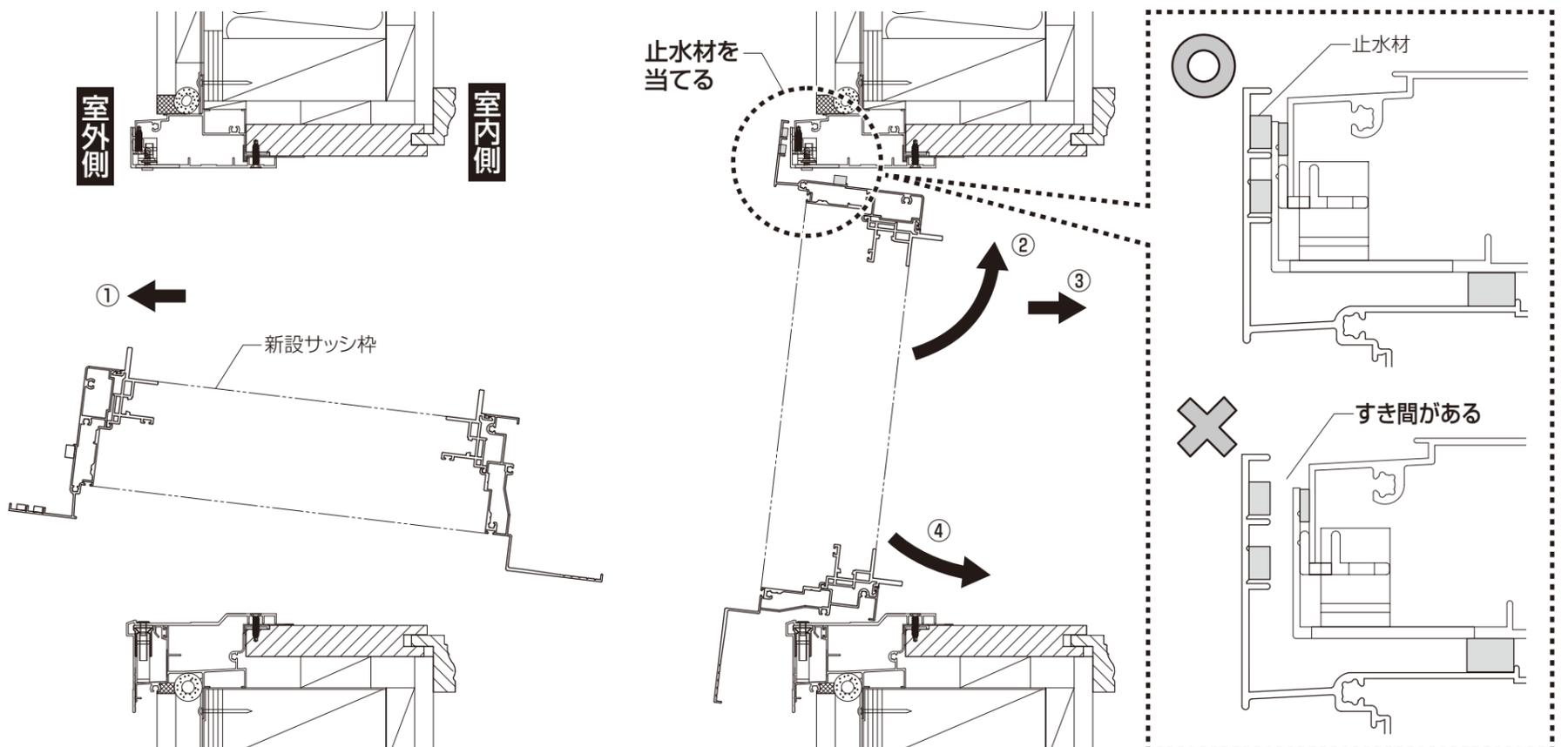
4 新設サッシ枠の取付け

- ※HWの寸法関係によっては屋内で組み立てた新設サッシが既設サッシから屋外に出せない場合があります。その場合は、新設サッシ枠の縦枠カバーを取外してはめ込みしてください。
- 取外したねじは、はめ込み後縦枠カバーの取付けで使用するのでなくさないでください。屋外に出せる場合は、中間の縦枠カバー取付ねじを止めてください。



4-1 新設サッシ枠のはめ込み

- 組立てた新設サッシ枠を既設枠開口部から室外側に出し、はめ込んでください。
- ※縦枠カバーを外した場合は、新設サッシ枠のはめ込み後、縦枠カバーを取付けてください。



1 既設サッシ枠の状態確認

2 既設サッシの準備

3 取付ベース材の取付け

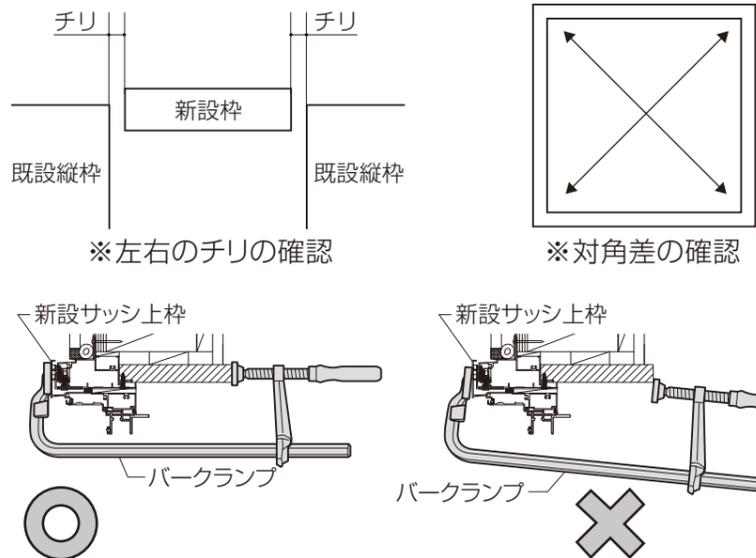
4 新設サッシ枠の取付け

5 新設サッシ障子の取付け

6 室内仕上げ材の取付け(有償品)

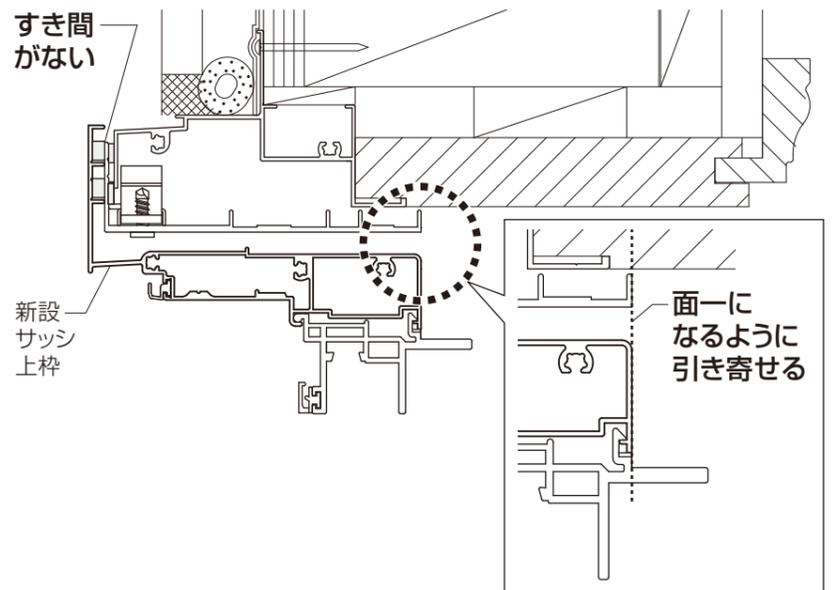
4-2 新設サッシ上枠の仮固定

既設枠に対し、左右のチリを均等にし、新設枠の対角を確認し調整してください。その後、新設サッシ上枠をパークランプで仮固定してください。



※既設サッシ上枠と新設サッシ上枠にすき間があいていないか確認してください。

※上記で確認できない場合は、新設サッシ上枠と上枠取付ベース材の屋内面が面一になっているか確認してください。



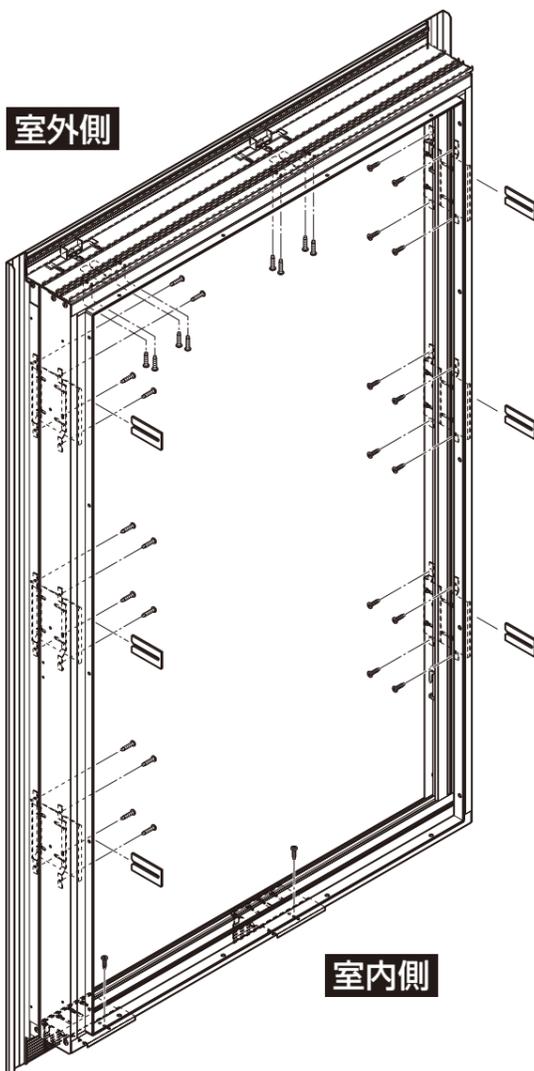
▲ 注意

- パークランプは水平にして新設サッシ上枠が上枠取付ベース材にあたるまでクランプしてください。クランプがゆるいと漏水のおそれがあります。

4-3 新設サッシ枠の固定

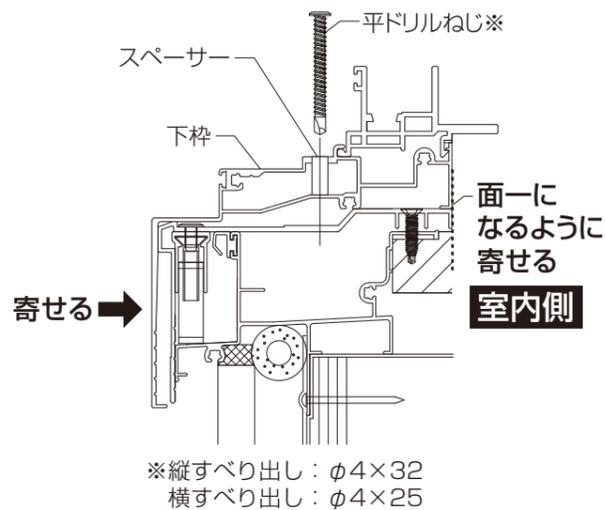
下げ振り、水準器などで、水平、垂直、対角を確認して、下⇒上⇒縦の順に指定のねじで固定していきます。

上枠、縦枠固定時は、一度ねじを仮止めし、調整スペーサーを入れて、再度水平・垂直を調整してから、本締めをしてください。



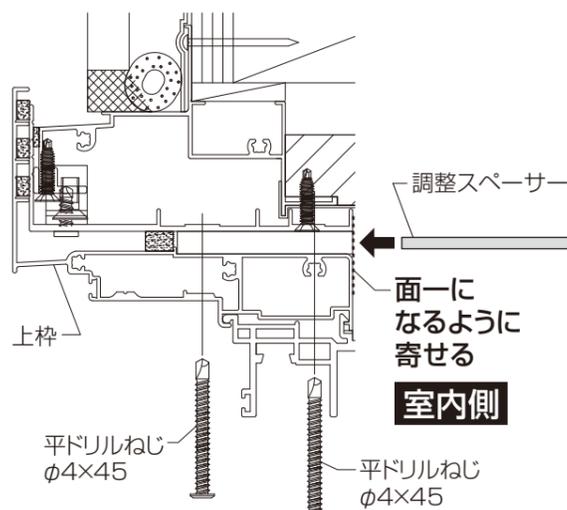
(1) 下枠をねじ固定

- ①下枠を室内側に寄せて、スペーサーを入れてねじ止め



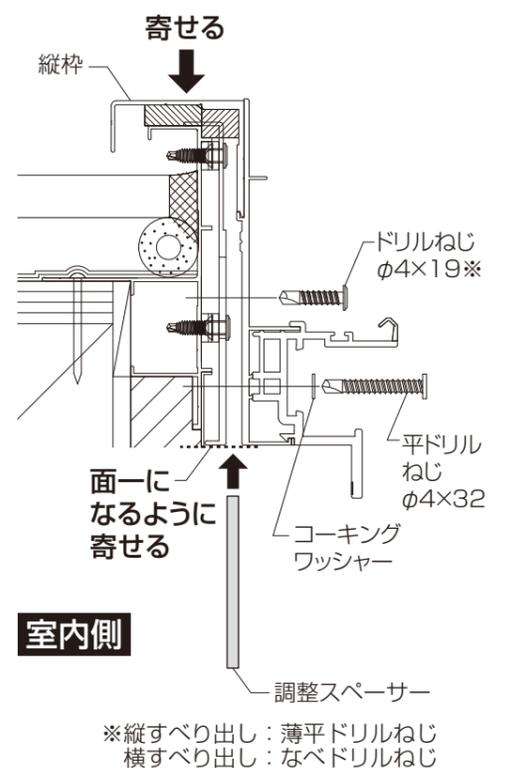
(2) 上枠をねじ固定

- ①上枠を室内側へ寄せてパークランプで仮固定してから、ねじを仮止め
パークランプはねじ止めする位置で固定してください。
- ②調整スペーサーで調整
※詳細はP10参照
- ③ねじを本締め



(3) 縦枠をねじ固定

- ①縦枠を室内側へ寄せて、ねじを仮止め
屋内側はコーキングワッシャーを入れてください。
- ②調整スペーサーで調整
※詳細はP10参照
- ③ねじを本締め



▲ 注意

- 調整スペーサーは同梱のものまたは見込み寸法が同じサイズ(50.5mm)のものを使用してください。スペーサーが大きいと止水材に干渉し漏水のおそれがあります。

お願い

※枠の引寄せは、ベース材と新設枠の室内側が面一になるまで引寄せてください。

1 既設サッシ枠の状態確認

2 既設サッシの準備

3 取付ベース材の取付け

4 新設サッシ枠の取付け

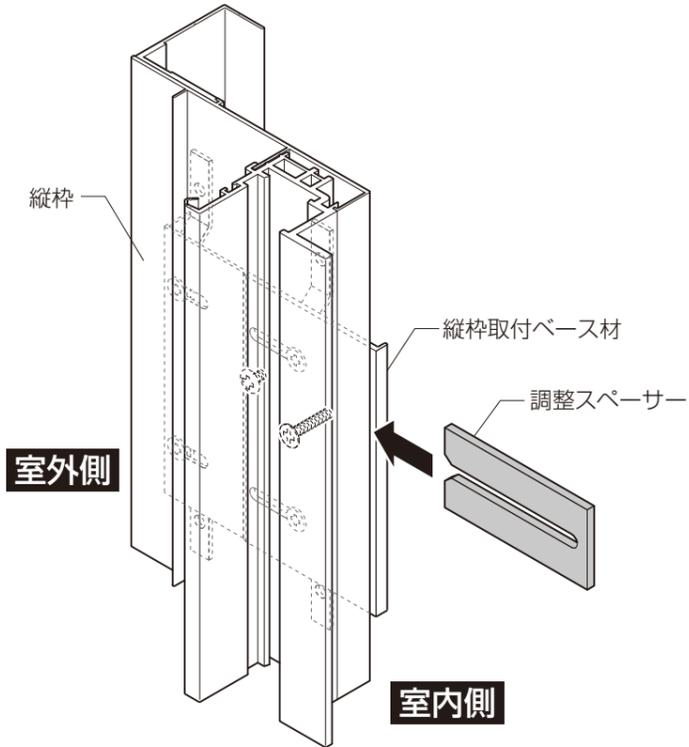
5 新設サッシ障子の取付け

6 室内仕上げ材の取付け(有償品)

【調整スペーサーの調整方法】

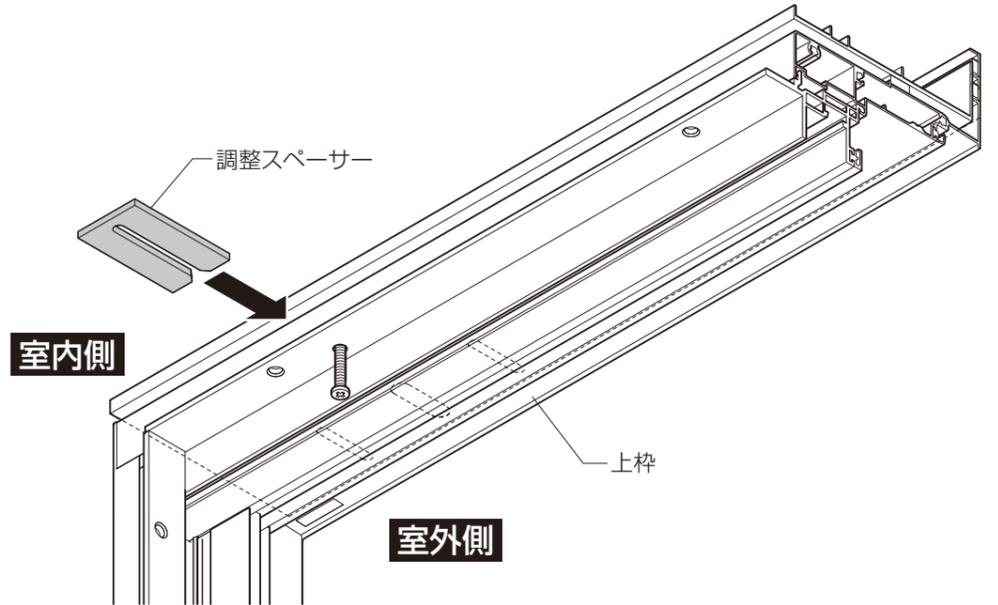
●縦枠の場合

調整スペーサー (t=3.0) または調整スペーサー (t=1.0) を仮止めしたねじに差し込み、すき間を埋めてください。



●上枠の場合

調整スペーサー (t=3.0) または調整スペーサー (t=1.0) を仮止めしたねじに差し込み、すき間を埋めてください。



5 新設サッシ障子の取付け

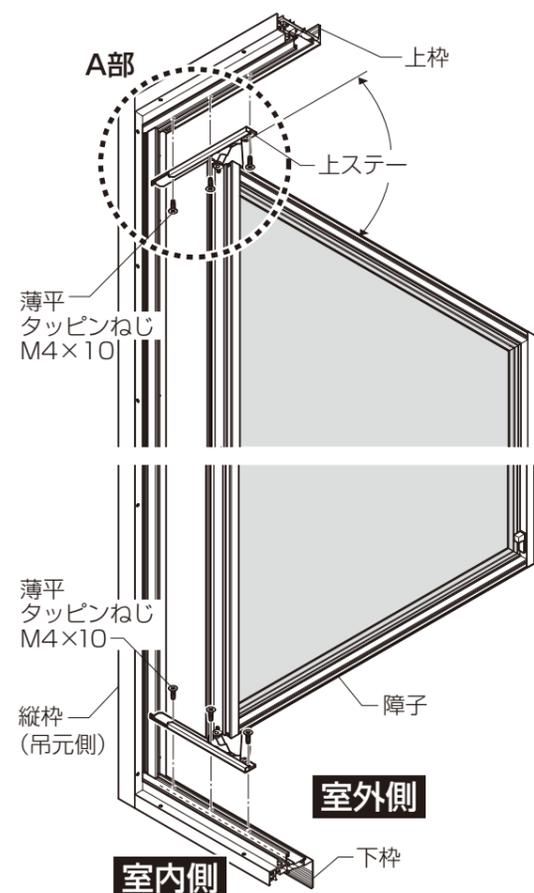
5-1 新設サッシ障子の取付け

※新設サッシ枠取付け後に気密テープを張付けますが、障子取付け・建付け調整で新設サッシ枠のスペーサーでの調整が必要になる場合があるため、障子の取付け・建付け調整を先にしてください。

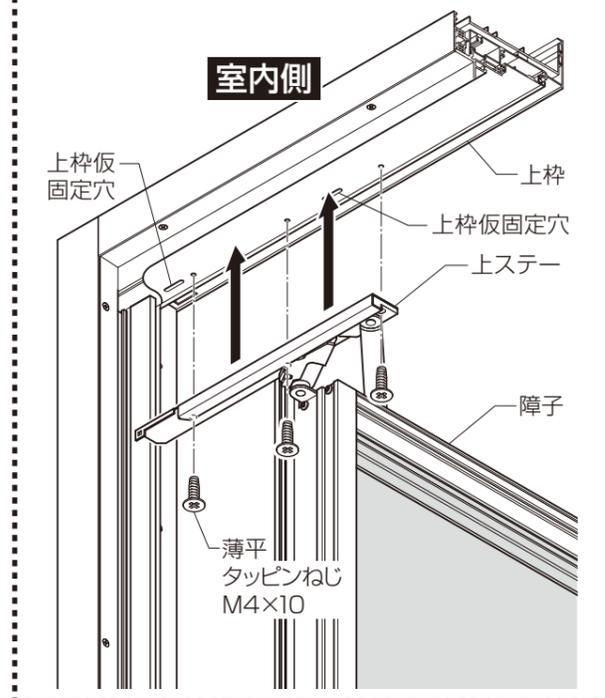
【縦すべり出し窓の場合】

- ①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
- ②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2箇所)
- ③下ステーを下枠にのせます。
- ④下ステーのねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)
- ⑤残ったねじをすべて固定します。

※逆の手順で障子を取外せます。

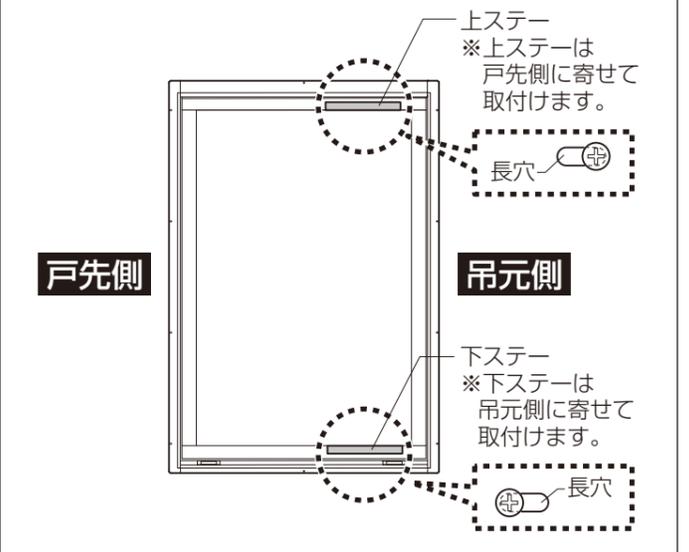


■A部詳細図



■障子の取付け位置

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。



1 既設サッシ枠の状態確認

2 既設サッシの準備

3 取付ベース材の取付け

4 新設サッシ枠の取付け

5 新設サッシ障子の取付け

6 室内仕上げ材の取付け(有償品)

【横すべり出し窓の場合】

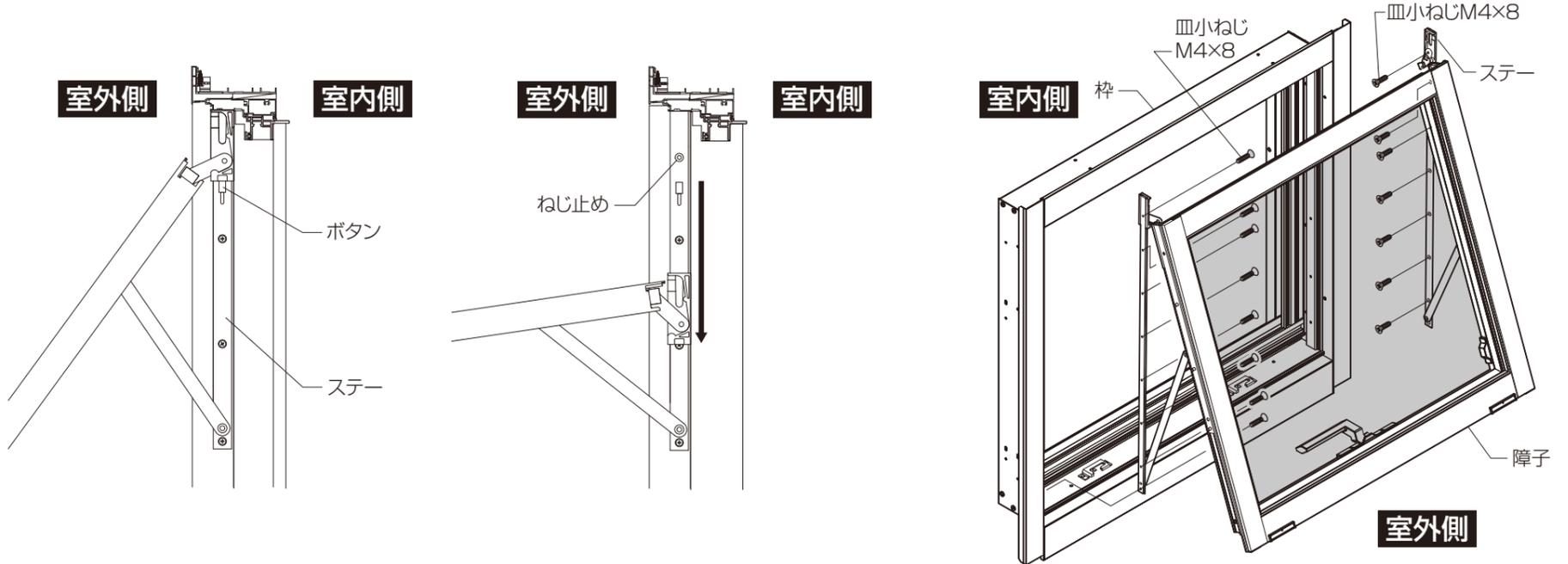
①障子に付いているステーをいっばいに開き、枠にねじで固定します。

※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。

※障子取付けねじ(皿小ねじ M4×8)はサイズにより個数が異なります。

※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

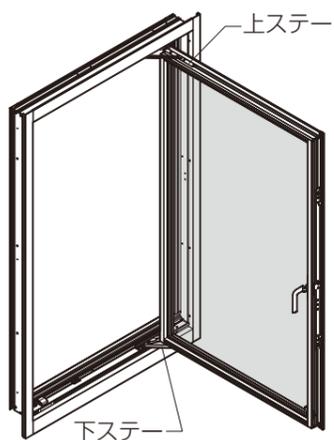
※逆の手順で障子を取外せます。



5-2 建付け調整

【縦すべり出し窓の場合】

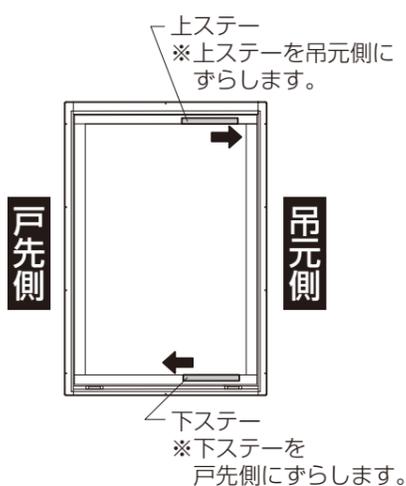
■障子の戸先が下がっている場合
上・下ステーで調整してください。



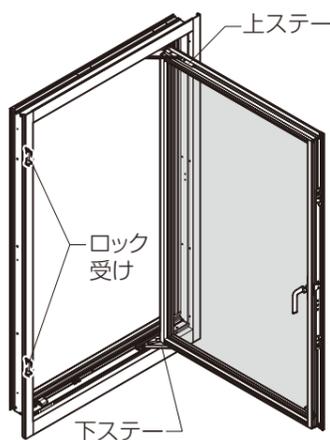
●上下ステーの調整

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。

※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。



■ハンドル操作が重い場合
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



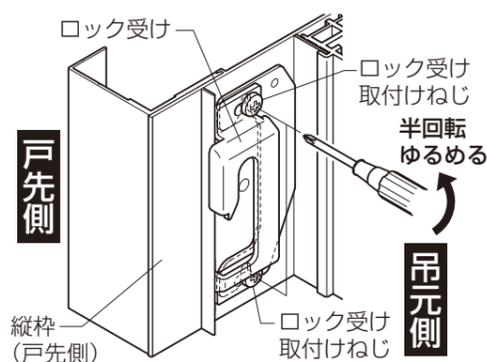
●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に3枚取付けてあります。

※①～③の作業をすべてのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。(上下半回転)

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。



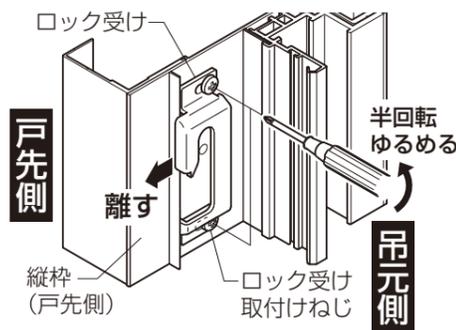
●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。

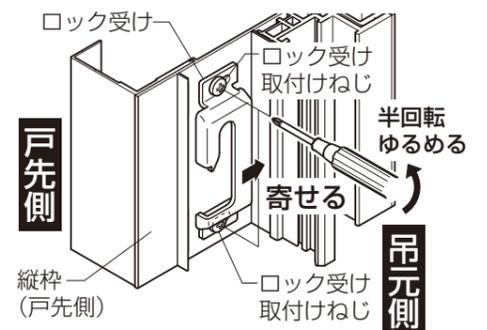
※ロック受け取付けねじをゆるめ(上下半回転)、位置を調整してください。

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

【ハンドルの操作が重い場合】



【ハンドルの操作が軽い場合】

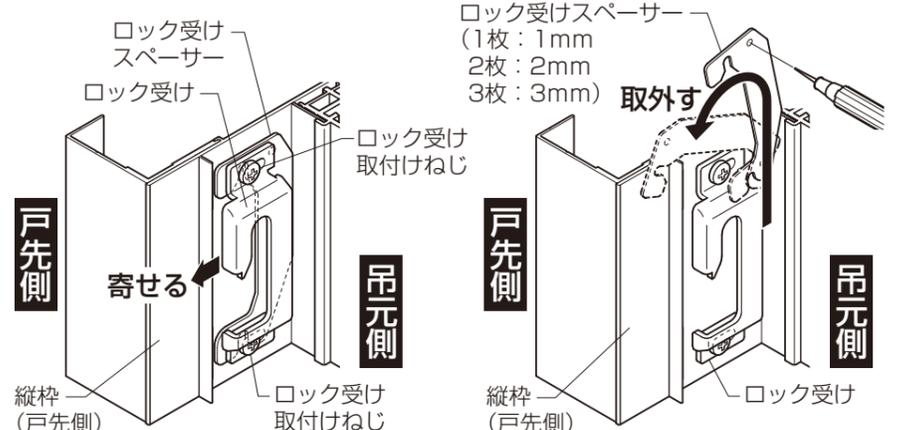


②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。

※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴に引っ掛けて引抜いてください。

※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、3枚外すと3mmロック受けが縦枠側に寄ります。小開口アームを取付ける場合スペーサーを1枚以上残してください。アーム受けと枠取付ねじが干渉し作動不良の原因になるおそれがあります。

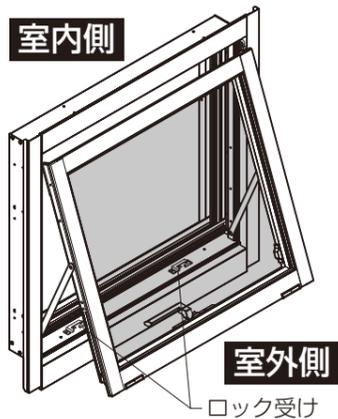
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。(「ロック受けの調整」を参照)



【横すべり出し窓の場合】

■ハンドル操作が重い場合

ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



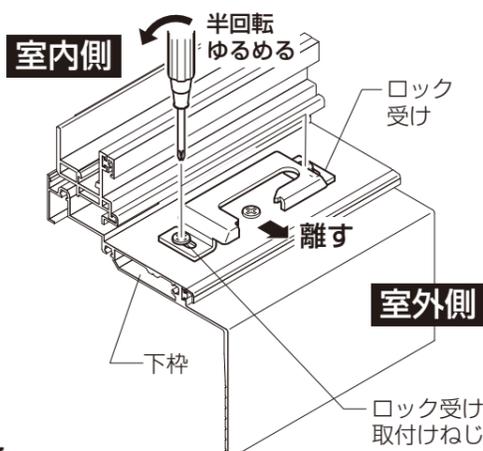
●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。

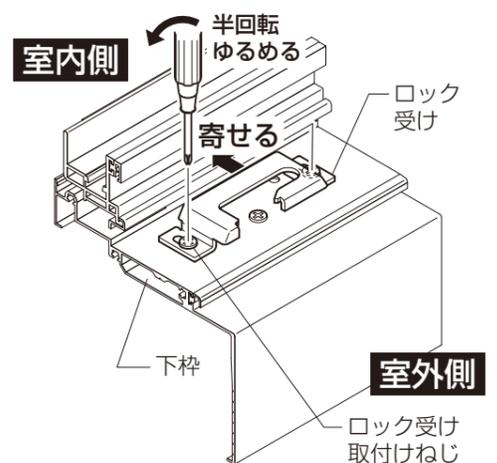
※ロック受け取付けねじをゆるめ(半回転)、位置を調整してください。

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

【ハンドルの操作が重い場合】



【ハンドルの操作が軽い場合】



●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。

※①～③の作業をすべてのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。(半回転)

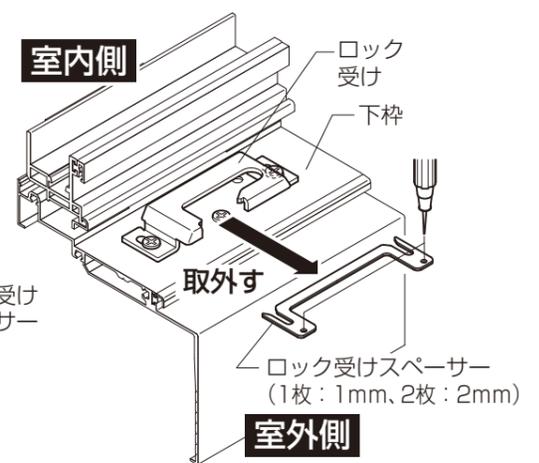
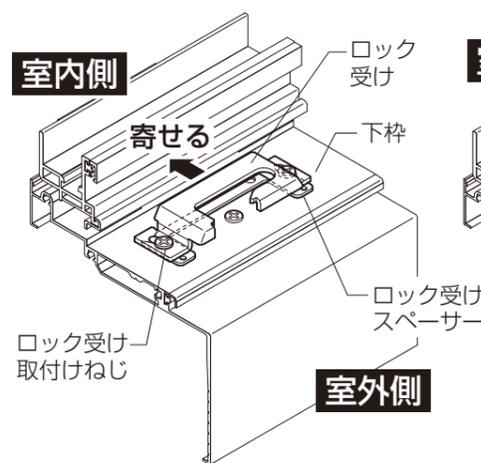
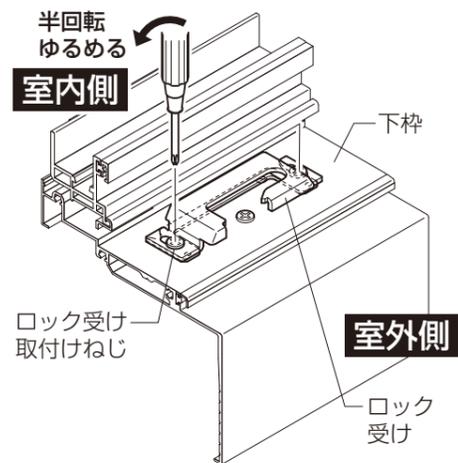
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②ロック受けを室内側に寄せてから、スペーサーを取外します。

※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴に引っ掛けて引抜いてください。

※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが下枠側に寄ります。

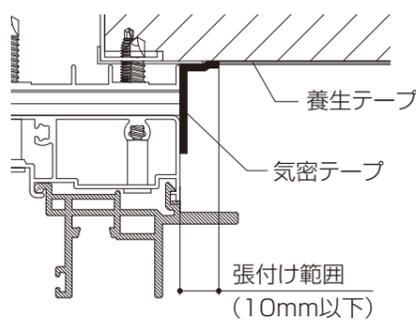
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。〔「ロック受けの調整」を参照〕



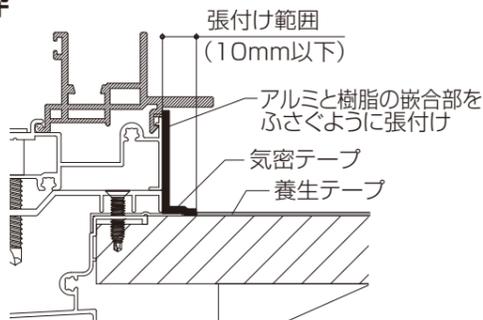
5-3 気密テープの張付け

図を参考にローラー、ヘラなどを使用し、先に張付けた気密テープに気密テープ幅50mmまたは幅30mmを浮き・すき間なく張付けてください。コーナ部分は重ね合せて張付けてください。

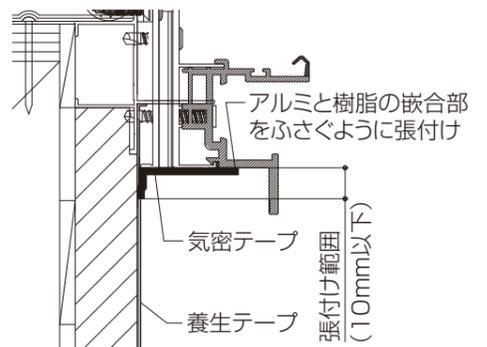
●上枠



●下枠

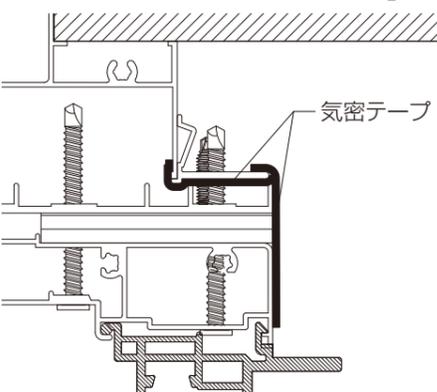


●縦枠

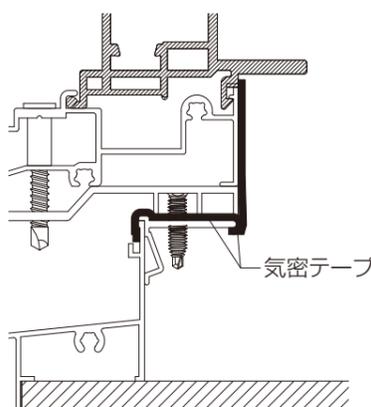


【ベース材取付補助アングル付の場合】

●上枠



●下枠



▲ 注意

- 漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。
- ・下枠と縦枠はアルミと樹脂の嵌合部を気密テープでふさいでください。

お願い(アルミ箔気密テープを使用する場合)

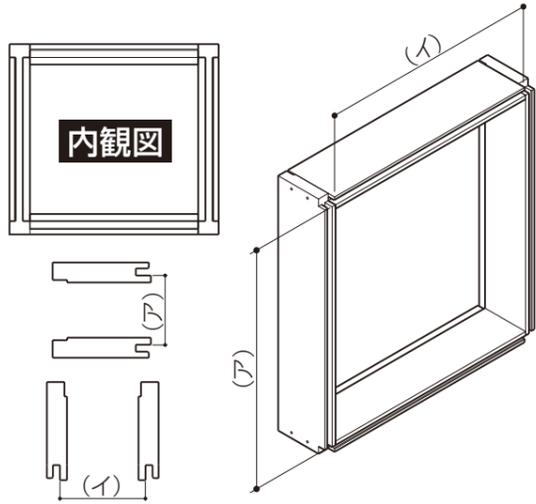
※アルミ箔気密テープはブチルシートを使用しています。のりが残るおそれがありますので、張付け面以外には付かないように養生テープで養生し、アルミ箔気密テープを張付けてください。アルミ箔気密テープの密着性を保つために、張付け面は汚れ・油分などなきよう、拭き取り・清掃をしてください。

6 室内仕上げ材の取付け(有償品)

※アングルカバー、見切材納まりの工程については、アングルカバー同梱の説明書を参照ください。
本説明書は、カバー用ケーシング納まりの場合を示します。

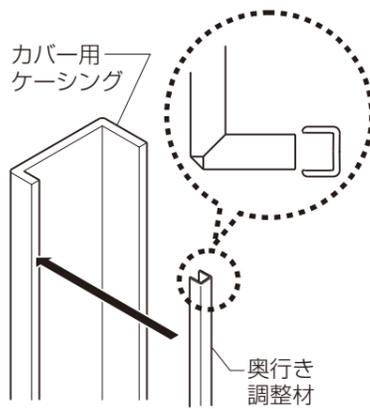
6-1 DS窓枠の採寸

①DS窓枠の溝間の寸法(ア)、(イ)(下図参照)を採寸してください。



6-2 ケーシングの切断

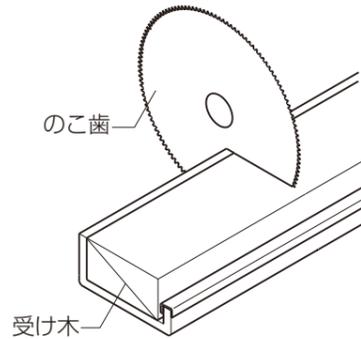
①奥行き調整材をカバー用ケーシングに取付けます。
※足の短い方に奥行き調整材を取付けてください。



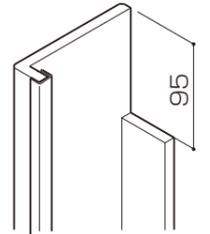
②切断します。
※切断する際は、受け木を入れてから切断してください。

〈縦枠・横枠切断寸法算出方法〉

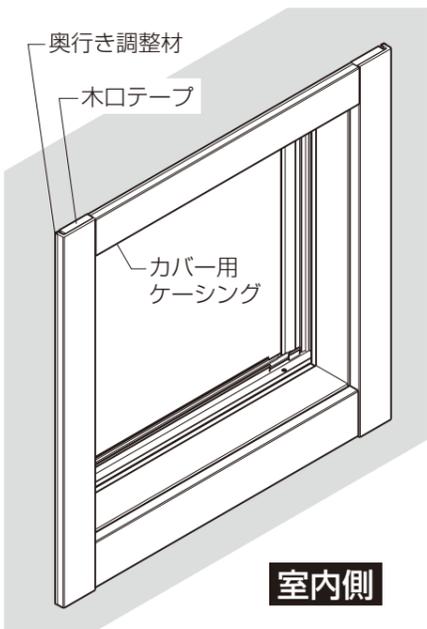
	四方枠
縦枠切断寸法	(ア)+210
横枠切断寸法	(イ)



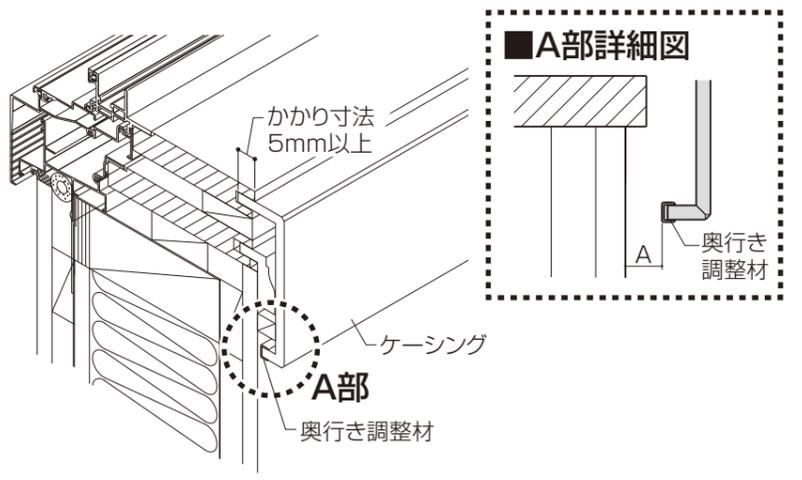
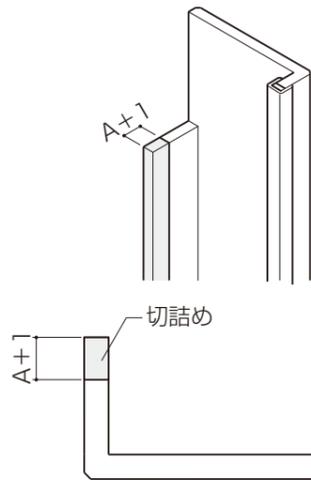
③縦枠の足の部分に下図の寸法にて切欠きをしてください。
※四方枠の場合は上下に下記の切欠きを行ってください。



6-3 ケーシングの取付け

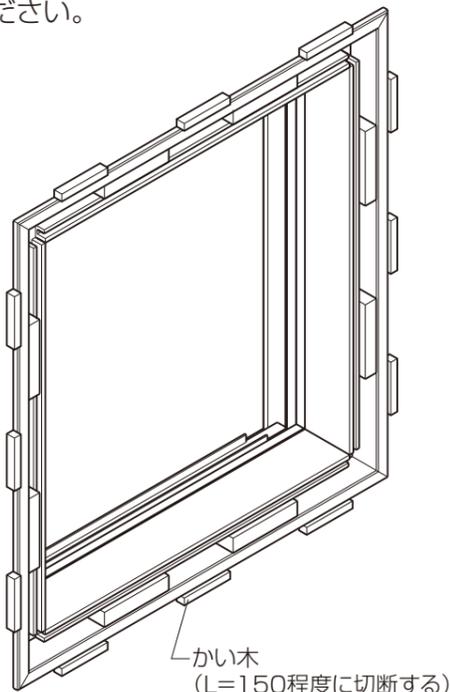


①枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
※壁面とすき間が生じる場合は、すき間の寸法分足を切詰めます。
※縦・横ケーシングの足が一律にケーシングの溝に5mm以上かかるようにしてください。



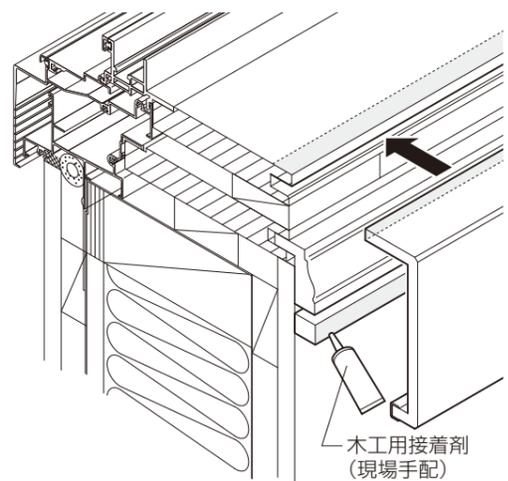
②ケーシングの取付け後のガタツキをなくすため、旧窓枠の室内側の四周外側に、同梱されているかい木を下記の図の要領にしたがってカクシ釘にて壁に固定してください。

※かい木を取付ける際、ケーシングが取付けられるかを予め確認してください。ケーシングが取付けられなくなる場合は、かい木を薄く切断して取付けてください。



③下図のアミ掛け、ケーシングの足部にまんべんなく木工用接着剤(現場手配)を塗布した後、すき間、ズレの調整を行い、ケーシングを固定してください。

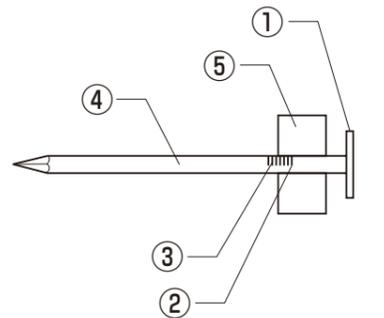
※仮止めをする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。



■専用カクシ釘の使用法

●各部名称

- ①釘頭 ②切断筋
- ③抜止め筋 ④残留釘
- ⑤弾力材 ⑥接着材
- ⑦部材 ⑧パッチャルペンシル材

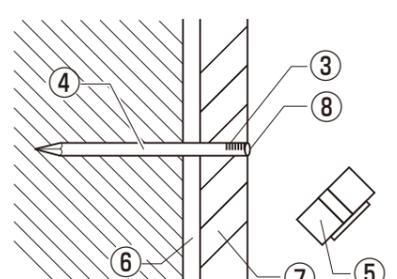
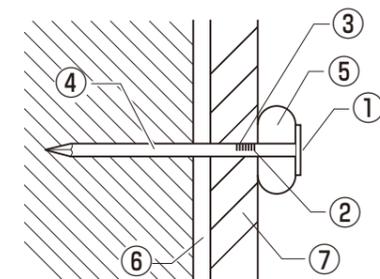


●仮止めする場合

釘頭①を打込むと切断筋②は部材⑦に入り込みこれで仮止め完了です。

●仮止めする場合

接着完了後、弾力材⑤を横からたたいて折付けます。抜止め筋③が働き「本止め」となります。



1 既設サッシ枠の
状態確認

2 既設サッシの
準備

3 取付ベース材の
取付け

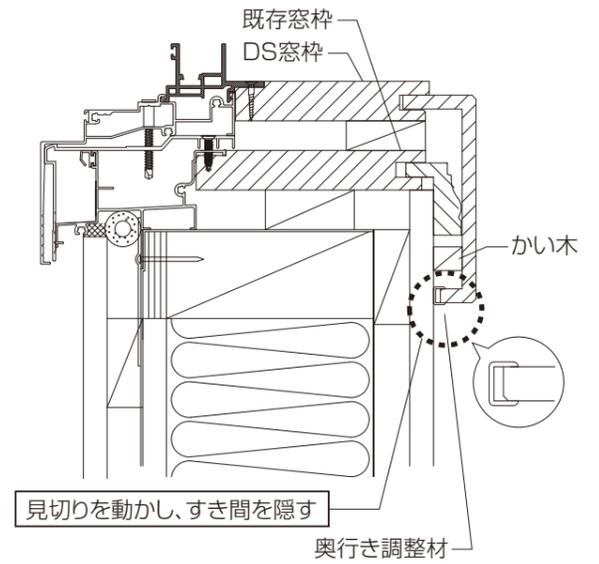
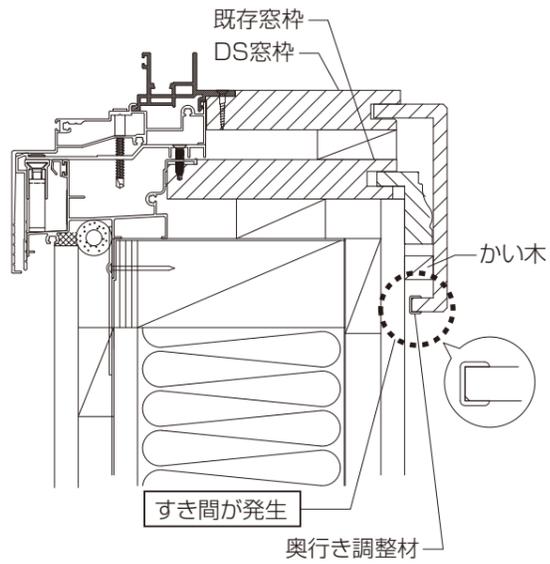
4 新設サッシ枠の
取付け

5 新設サッシ障子の
取付け

6 室内仕上げ材の
取付け(有償品)

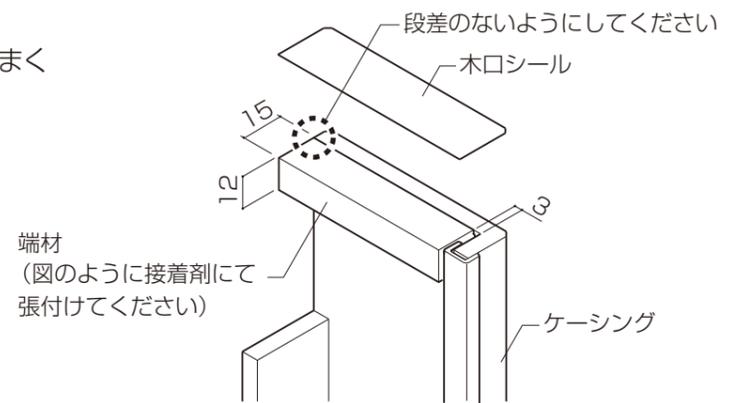
6-4 調整方法

①壁の不陸などにより、壁との間にすき間ができた場合は、奥行き調整材にて右図に示すように調整してください。



6-5 木口テープの張付け

①縦枠端部に木口テープを張り、基材の露出部を隠してください。この時、木口テープがうまく接着できるよう、端材などであらかじめすき間を埋めておいてください。



※木口テープは現場の寸法に合わせて切断してご使用ください。(奥行き調整により、若干切断寸法が変わってきますので、現場に合わせて切断してください。)

